

茨城県景気ウォッチャー調査 (平成16年12月調査分)

調査の目的

経済の第一線で働いている人々から、景気に関する生の情報を得ます。
その景気に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに、迅速に公表します。
県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気判断の基礎資料となります。

調査の概要

調査客体数…県内各地域（県北，県央，鹿行，県南，県西）ごとに60名，計300名です。
調査内容……景気の現状，先行き判断とその判断理由を質問します。
調査時期……四半期（6，9，12，3月）ごとに実施し，翌月公表します。

調査の概要（回答率92.3%）

1. 県全体の状況

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは、「良くなっている」・「やや良くなっている」の回答構成比が増加したものの、「悪くなっている」・「やや悪くなっている」の回答構成比が増加したため、1.6ポイント減の48.3となり、9月調査分に引き続き横這いを表す50を下回った。業種別にみても、家計動向関連，企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・見積件数は増加しているものの、競争が激しいため落札しても非常に厳しい内容となっている。（県北＝非製造業（建設業））
- ・暖冬による暖房品の低迷が大きく影響し、来客数が減少している。（県央＝家電販売店）
- ・暖冬の影響で冬物商品が売れていない。また、野菜やたまごなどの高値が続いているため、他の商品の買い控え傾向が見られる。（鹿行＝スーパー）

景気の現状判断DI

分 野	調査日時	平成16年 3月	平成16年 6月	平成16年 9月	平成16年 12月
合 計		53.1	50.3	49.9	48.3
家計動向関連	家計動向関連	49.9	49.3	46.0	45.3
	小売関連	49.6	49.6	48.4	45.1
	飲食関連	48.6	43.4	50.0	41.7
	サービス関連	48.5	48.7	42.6	46.2
	住宅関連	66.7	63.9	50.0	47.2
企業動向関連	企業動向関連	54.7	49.4	53.9	50.6
	農林水産業	37.5	34.4	50.0	42.9
	製造業	58.1	49.5	51.6	50.5
	非製造業	54.5	53.3	58.6	52.6
雇用関連		71.0	60.0	64.0	61.5

回答構成比

	な良 つく ている	なや つて良 くなる	変 わら ない	なや つて悪 くなる	な悪 つく ている
平成16年3月	5.0%	29.2%	44.5%	16.0%	5.3%
平成16年6月	2.5%	26.9%	44.1%	22.2%	4.3%
平成16年9月	0.7%	24.9%	52.3%	17.4%	4.6%
平成16年12月	1.8%	25.3%	43.0%	24.2%	5.8%

■調査から

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは、「悪くなっている」・「やや悪くなっている」の回答構成比が増加したため、6.0ポイント減の46.0となった。9月調査分を下回り、横這いを表す50を下回った。業種別にみても、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・定率減税の縮小や年金保険料の引き上げなどが個人所得の増加が見込めない家計に与える影響は少なくないと思われる。(県央＝百貨店、総合スーパー)
- ・顧客先の一部で業務縮小に伴う人員減の公算が高くなっている。(県南＝人材派遣業)
- ・近隣地区でガソリンの超安値が出たため、こちらの地区にも影響が出そうである。(県西＝ガソリンスタンド)

景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成16年 3月	平成16年 6月	平成16年 9月	平成16年 12月
合計		53.0	53.5	52.0	46.0
家計動向関連		52.5	52.6	49.7	44.4
小売関連		51.8	54.0	51.6	46.2
飲食関連		54.2	43.4	52.5	40.3
サービス関連		50.6	53.5	48.5	43.6
住宅関連		72.2	55.6	40.6	47.2
企業動向関連		51.3	53.6	53.9	48.8
農林水産業		56.3	50.0	50.0	53.6
製造業		50.0	48.9	53.6	48.4
非製造業		51.8	61.7	55.2	48.3
雇用関連		62.0	59.0	61.0	47.9

回答構成比

	な良 つて いる	なや つて や良 いく る	変 わら ない	なや つて や悪 いく る	な悪 つて いる
平成16年3月	2.5%	29.2%	50.2%	14.2%	3.9%
平成16年6月	3.2%	24.0%	59.1%	10.8%	2.9%
平成16年9月	0.7%	27.0%	55.5%	12.8%	3.9%
平成16年12月	0.7%	14.4%	57.8%	22.4%	4.7%

2. 地域別の状況

<景気の現状判断DI>

	平成16年 9月	平成16年 12月	前回調査比
茨城県	49.9	48.3	-1.6
県北地域	50.4	42.4	-8.0
県央地域	47.7	49.1	+1.4
鹿行地域	52.2	52.3	+0.1
県南地域	50.0	47.8	-2.2
県西地域	49.1	50.0	+0.9

<景気の先行き判断DI>

	平成16年 9月	平成16年 12月	前回調査比
茨城県	52.0	46.0	-6.0
県北地域	53.4	43.8	-9.6
県央地域	51.4	48.7	-2.7
鹿行地域	51.8	44.5	-7.3
県南地域	51.8	44.6	-7.2
県西地域	51.4	48.6	-2.8

県北地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは42.4であり、9月調査分と比べて8.0ポイント下回り、横這いを表す50を下回った。また、DI値は全県を通じて最も低かった。業種別にみても、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・企業のボーナスが4割程度カットされたようであり、忘年会や新年会の予約が少ない。(食堂)
- ・主力製品のモデルチェンジにより受注量が減少している。(製造業(電気機械器具))

景気の現状判断DI

調査日時	平成16年3月	平成16年6月	平成16年9月	平成16年12月
合計	53.0	48.7	50.4	42.4
家計動向関連	49.3	47.8	45.1	38.6
企業動向関連	54.4	45.6	57.4	47.1
雇用関連	75.0	65.0	65.0	56.3

回答構成比

	な 良 な っ て っ い る	な や な っ て っ い る	変 わ ら な い	な や な っ て っ い る	な 悪 な っ て っ い る
平成16年3月	10.2%	18.6%	50.8%	13.6%	6.8%
平成16年6月	1.8%	23.2%	50.0%	17.9%	7.1%
平成16年9月	1.7%	22.4%	56.9%	13.8%	5.2%
平成16年12月	0.0%	10.7%	53.6%	30.4%	5.4%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは43.8であり、9月調査分と比べて9.6ポイント下回り、横這いを表す50を下回った。また、DI値は全県を通じて最も低かった。業種別にみても、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・地元大企業の関連企業から来年に対して良い話が聞かれない。(タクシー運転手)
- ・鋼材の逼迫によりカーメーカーの生産調整が始まっている。また、海外への作業シフト要請及び原材料の値上がり傾向は今後も続くと思われる。(製造業(輸送用機械器具))

景気の先行き判断DI

調査日時	平成16年3月	平成16年6月	平成16年9月	平成16年12月
合計	52.5	50.0	53.4	43.8
家計動向関連	53.4	50.0	52.1	40.7
企業動向関連	48.5	48.5	54.4	47.1
雇用関連	60.0	55.0	60.0	56.3

回答構成比

	な 良 な っ て っ い る	な や な っ て っ い る	変 わ ら な い	な や な っ て っ い る	な 悪 な っ て っ い る
平成16年3月	5.1%	22.0%	52.5%	18.6%	1.7%
平成16年6月	0.0%	21.4%	60.7%	14.3%	3.6%
平成16年9月	0.0%	25.9%	63.8%	8.6%	1.7%
平成16年12月	0.0%	7.1%	66.1%	21.4%	5.4%

県央地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは49.1であり、9月調査分と比べて1.4ポイント上回ったものの、引き続き横這いを表す50を下回った。業種別にみても、家計動向関連DI及び企業動向関連DIが9月調査分を上回ったが、雇用関連DIが9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・以前から引き合い件数は増加傾向にあったが、ここにきて受注となり月々の売上げになっている。特に、特注品に近い大型物件の製品が多い。(製造業(一般機械器具))
- ・業務拡大や新会社設立のための増員があまり見られない。(求人広告)

■調査から

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成16年 3月	平成16年 6月	平成16年 9月	平成16年 12月
合計		53.6	52.2	47.7	49.1
家計動向関連		47.9	48.6	42.1	45.1
企業動向関連		61.7	56.3	53.3	55.0
雇用関連		70.0	65.0	70.0	60.0

回答構成比

	な ま よ く な つ て い る	な ま よ く な つ て い る	ま わ ら な い	な ま よ く な つ て い る	な ま よ く な つ て い る
平成16年3月	1.8%	30.4%	51.8%	12.5%	3.5%
平成16年6月	0.0%	32.1%	46.4%	19.6%	1.8%
平成16年9月	1.8%	23.6%	45.5%	21.8%	7.3%
平成16年12月	1.8%	25.0%	46.4%	21.4%	5.4%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは48.7であり、9月調査分と比べて2.7ポイント下回り、横這いを表す50を下回った。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・原油価格の高騰によるしわ寄せが表面化してきている。また、中国との関係悪化により仕入が困難な食材がある。(ファミリーレストラン)
- ・燃料等原油高に起因する原材料費の高騰が経営に悪影響を与えていると思われる。(製造業(食品))

景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成16年 3月	平成16年 6月	平成16年 9月	平成16年 12月
合計		51.8	55.8	51.4	48.7
家計動向関連		48.6	53.6	48.6	46.5
企業動向関連		56.7	59.4	55.0	53.3
雇用関連		60.0	60.0	60.0	50.0

回答構成比

	な ま よ く な つ て い る	な ま よ く な つ て い る	ま わ ら な い	な ま よ く な つ て い る	な ま よ く な つ て い る
平成16年3月	1.8%	23.2%	58.9%	12.5%	3.6%
平成16年6月	3.6%	28.6%	57.1%	8.9%	1.8%
平成16年9月	0.0%	25.5%	56.4%	16.4%	1.8%
平成16年12月	3.6%	12.5%	62.5%	17.9%	3.6%

鹿行地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは52.3であり、9月調査分と比べて0.1ポイント上回り、引き続き横這いを表す50を上回った。また、DI値は全県を通じて最も高かった。業種別にみると、企業動向関連DI及び雇用関連DIが9月調査分を上回ったが、家計動向関連DIが9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・予算売上げに対し、大幅に利益を得ている。年末の賞与もアップする予定である。(製造業(化学工業))
- ・全産業で求人増加が見られる。数年間求人をしていなかった企業からの申し込みも見られる。(公共職業安定所)

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成16年 3月	平成16年 6月	平成16年 9月	平成16年 12月
合計		49.5	50.9	52.2	52.3
家計動向関連		46.5	50.0	46.5	45.8
企業動向関連		51.8	51.8	61.7	62.5
雇用関連		65.0	55.0	65.0	70.0

回答構成比

	な ま よ く な つ て い る	な ま よ く な つ て い る	ま わ ら な い	な ま よ く な つ て い る	な ま よ く な つ て い る
平成16年3月	3.6%	25.5%	47.3%	12.7%	10.9%
平成16年6月	1.9%	27.8%	46.3%	20.4%	3.7%
平成16年9月	0.0%	35.7%	41.1%	19.6%	3.6%
平成16年12月	3.6%	34.5%	32.7%	25.5%	3.6%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは44.5であり、9月調査分と比べて7.3ポイント下回り、横這いを表す50を下回った。業種別にみても、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・農家では収穫期の利益が少なかったため、消費の伸びはあまり期待できない。(商店街代表者)
- ・企業人事の動向から求人数は多少増加すると思われるものの、求職者の選り好みや就職意識の低下等からベストマッチングの困難が予想される。(民間職業紹介業)

景気の先行き判断DI

調査日時	平成16年3月	平成16年6月	平成16年9月	平成16年12月
合計	55.5	50.5	51.8	44.5
家計動向関連	54.9	49.3	47.9	41.0
企業動向関連	51.8	51.8	58.3	53.6
雇用関連	70.0	55.0	60.0	45.0

回答構成比

	な 良 な 悪 な 悪 な 悪 な 悪	な や な や な や な や な や	な や な や な や な や な や	な や な や な や な や な や	な 悪 な 悪 な 悪 な 悪 な 悪
平成16年3月	3.6%	38.2%	41.8%	9.1%	7.3%
平成16年6月	1.9%	22.2%	55.6%	16.7%	3.7%
平成16年9月	0.0%	33.9%	44.6%	16.1%	5.4%
平成16年12月	0.0%	14.5%	56.4%	21.8%	7.3%

県南地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは47.8であり、9月調査分と比べて2.2ポイント下回り、横這いを表す50を下回った。業種別にみても、企業動向関連DI及び雇用関連DIが9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・年末商品の動きが悪く、売上げが対前年比で大幅に減少している。(製造業(食品))
- ・今後の景気の不透明さから、各企業は人材派遣会社を利用して本採用を控える傾向にある。(雇用相談員)

景気の現状判断DI

調査日時	平成16年3月	平成16年6月	平成16年9月	平成16年12月
合計	55.4	53.9	50.0	47.8
家計動向関連	56.4	54.4	49.3	49.3
企業動向関連	45.3	50.0	50.0	44.1
雇用関連	80.0	65.0	55.0	50.0

回答構成比

	な 良 な 悪 な 悪 な 悪 な 悪	な や な や な や な や な や	な や な や な や な や な や	な や な や な や な や な や	な 悪 な 悪 な 悪 な 悪 な 悪
平成16年3月	5.4%	37.5%	33.9%	19.6%	3.6%
平成16年6月	5.3%	33.3%	35.1%	24.6%	1.8%
平成16年9月	0.0%	19.3%	63.2%	15.8%	1.8%
平成16年12月	0.0%	28.6%	41.1%	23.2%	7.1%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは44.6であり、9月調査分と比べて7.2ポイント下回り、横這いを表す50を下回った。業種別にみても、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・定率減税の廃止報道やビールの実質上の値上げ等、景気の悪くなる要因が多い。(スーパー)
- ・円高による輸出関連企業の収益率の悪化が懸念される。(製造業(一般機械器具))

■調査から

景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成16年 3月	平成16年 6月	平成16年 9月	平成16年 12月
合計		50.4	56.1	51.8	44.6
家計動向関連		50.7	58.1	50.0	47.1
企業動向関連		51.6	50.0	52.8	39.7
雇用関連		45.0	65.0	60.0	45.0

回答構成比

	な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な	な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な	な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な	な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な	な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な
平成16年3月	1.8%	23.2%	53.6%	17.9%	3.5%
平成16年6月	7.0%	24.6%	56.1%	10.5%	1.8%
平成16年9月	1.8%	26.3%	54.4%	12.3%	5.3%
平成16年12月	0.0%	17.9%	46.4%	32.1%	3.6%

県西地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは、9月調査分と比べて0.9ポイント上回り、横這いを表す50.0となった。業種別にみると、家計動向関連DI及び雇用関連DIが9月調査分を上回ったが、企業動向関連DIが9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・暖冬により灯油の販売が振るわないが、全体的には通常通りのように感じられる。(ガソリンスタンド)
- ・どの業種においても受注競争が激しく、時には原価を割って受注する物もある。(製造業(印刷業))

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成16年 3月	平成16年 6月	平成16年 9月	平成16年 12月
合計		54.1	45.5	49.1	50.0
家計動向関連		49.2	45.3	46.9	48.3
企業動向関連		60.3	44.7	48.6	47.4
雇用関連		65.0	50.0	65.0	70.0

回答構成比

	な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な	な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な	な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な	な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な	な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な
平成16年3月	3.6%	34.5%	38.2%	21.8%	1.9%
平成16年6月	3.6%	17.9%	42.9%	28.6%	7.1%
平成16年9月	0.0%	23.6%	54.5%	16.4%	5.5%
平成16年12月	3.7%	27.8%	40.7%	20.4%	7.4%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは48.6であり、9月調査分と比べて2.8ポイント下回り、横這いを表す50を下回った。業種別にみると、企業動向関連DIが9月調査分を上回ったが、家計動向関連DI及び雇用関連DIが9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・売買客の増加が見込まれる。また、広告掲出物件についての問合せ件数等も増加傾向にある。(非製造業(不動産業))
- ・アウトサイダー的な店が地元にも隣町にも多くなり、ますます厳しくなることが予想される。(理・美容店)

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成16年 3月	平成16年 6月	平成16年 9月	平成16年 12月
合計		55.0	54.9	51.4	48.6
家計動向関連		55.3	52.3	50.0	47.5
企業動向関連		48.5	57.9	50.0	51.3
雇用関連		75.0	60.0	65.0	45.0

回答構成比

	な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な	な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な	な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な	な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な	な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な な ま よ う な
平成16年3月	0.0%	40.0%	43.6%	12.7%	3.7%
平成16年6月	3.6%	23.2%	66.1%	3.6%	3.6%
平成16年9月	1.8%	23.6%	58.2%	10.9%	5.5%
平成16年12月	0.0%	20.4%	57.4%	18.5%	3.7%